2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33503	住居管理 House Management	阿部 順子		専門	2	選択	1.2年前期

科目の概要

生活の器である住居を適切に管理し、快適で健康な生活を送るとともに、地域や地球の環境にも配慮した住まい方が求められている。住居の管理を通じて、住生活そのものをより良く知り、改善していくために、日常的に心掛けるべきことを習得し、自らが実践していける力と、他者への支援ができる力を身につける。この授業では、住まいにおけるライフスタイルを自らデザインできるために必要な専門的知識を修得し、活用できる能力を身につける。

学修内容	到達目標
① 住居の基本的知識を習得する。 ② 住居管理で考慮すべき事項を総括する。 ③ 具体的な管理の対象・方法が理解でき、管理の評価に基づく、次のステップに進む知見を得る。 ④ 自らの住生活を住居管理の観点から省察・改善できる資質を身につける。	① 住居の基本的知識を獲得している。 ② 住居管理の必要性や課題を適切に説明できる。 ③ 管理対象についてどのような方法や取組によってより適切な管理が可能となるかを示すことができる。 ④ 自らの住生活を住居管理の観点から省察・改善できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	住まいの適切な管理やよりよい住まい方を知るという目標に向かって、教科書や講義を基礎に、自らすすんで自己学習を進めていくことができる。
	働きかけ力	
	実行力	実物を観察する、資料を収集する、問いかける、議論するなど、能動的に取り組みつづけることができる。
考え抜く力	課題発見力	事象の背景にある脈絡や関係性について、常に「なぜ」と問いかけ、より高次のステップを目指すための課題を見つけることができる。
	計画力	
	創造力	事象を理解し、知識を習得することを通じて、さまざまな知識を有機的に関連づけられるような、自らの知のフレームを創り上げるよう努力できる。
チームで働く力	発信力	学習の過程で抱いた疑念や知見を、より広い文脈の中に位置付け、ポイントを適確に示しつつ要領よく発信することができる。
	傾聴力	人の意見に対して、真摯に受け止めようとする態度をもって耳を傾けるとともに、その意見への賛否を応答し、発展的な議論となるように展開することができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『私たちの住まいと生活』、水村容子・井上由起子・渡邉美樹、彰国社、2018年、2400円+税
参考文献：授業中に紹介する

他科目との関連、資格との関連

科目との関連：インテリアデザイン、住まいの文化
資格との関連：　インテリアコーディネーター

学修上の助言	受講生とのルール
授業には相当時間の予習・復習が前提であることをよく理解し、毎回の課題等に真摯に取り組んでください。	・遅刻は出席とカウントしないので、ご注意下さい。 ・当日欠席のため課題等の提出が遅れる場合には可能な限り速やかに提出してください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	45	①	✓			・基本的な住居に関する知識を踏まえて、住居管理の意義や具体的な管理技法・方法について説明できること。 ・さらに、住居管理を通じてどのような住生活の改善を目指しているのかについて自らの意見を論理的に主張できること。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	45	①	✓			・毎回の授業で課題を課す。課題は授業の進捗状況や受講生の理解度を勘案して、授業中に指示する。 ・内容に著しい不備があるもの、提出期限遅れのものは、減点の対象とする。 ・45点＝3点×15回
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
				④				
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） ・実際の住まいや資料などを通じて、授業・教科書での学習内容をより深めることができる。 （実行力） ・知識の獲得・深化のために授業以外の学習行動に取り組むことができる。 （課題発見力） ・講義での質疑応答やレポート課題において、常に問いかける視点をもつことができる。 （創造力） ・テーマ毎の学習内容の関連を考え、多面的な見方と、総合的なとらえ方をすることができる。 （発信力） ・ポイントや結論を明確に示し、わかりやすい表現で意見を述べることができる。 （傾聴力） ・話し言葉や書き言葉の内容を理解し、加えてその文脈にも思いをめぐらすことができる。 （規律性） ・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポートを行う。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①住居、住居管理の基本的知識が確実に習得され、これに基づいて健康・快適・安全・豊かな自らの住生活のための具体的な方策やその効果・限界を表明できること。 ②住居管理について、多様な住み手の住居に対する管理課題やニーズを把握し、適切にアドバイスできる能力を身につけていること。 Ｓ（秀）＝①＋②、　Ａ（優）＝①	①住居、住居管理の基本的知識が確実に習得されていること。 ②これに基づいて健康・快適・安全・豊かな住生活に向けた実践への意思が明確に表明できること。 Ｂ（良）＝①＋②、　Ｃ（可）＝①

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業ガイダンス 教科書3-1「住まいとインテリア」	講義 質疑応答 課題①(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題①提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいやインテリアの概念を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書3-1と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書3-1を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	教科書3-2「家具の人間工学」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題②(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題②提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・人間工学の概念を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書3-2と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書3-2を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	教科書2-6「住まいの安全と健康」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題③(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題③提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいにおける安全や健康の概念を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書2-6と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書2-6を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	教科書4-1「住まいのメンテナンス」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題④(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題④提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいのメンテナンスの必要性を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書4-1と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書4-1を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	教科書4-2「リハウスとリフォーム」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題⑤(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題⑤提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・リハウスとリフォームの概念を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書4-2と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書4-2を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	教科書5-1「子どもと親の特別な住まい」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題⑥(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題⑥提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・子どもと親の特別な住まいの概念を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書5-1と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書5-1を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	教科書5-2「子どものための社会的住まい」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題⑦(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題⑦提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・社会的住まいの概念を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書5-2と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書5-2を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	教科書5-3「子育て世代の住まい」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題⑧(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題⑧提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・子育て世代の住まいの特徴を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書5-3と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書5-3を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	教科書7-1「障害のある人を配慮した住環境整備」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題⑨(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題⑨提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・障害を得た時の住まいのあり方について自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書7-1と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書7-1を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	教科書7-2「障害のある人の住まい」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題⑩(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題⑩提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・障害のある人の住まいについて自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書7-2と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書7-2を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	教科書8-1「高齢者の住まい」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題⑪(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題⑪提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・高齢者の住まいの特徴を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書8-1と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書8-1を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	教科書8-2「自宅に暮らす」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題⑫(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題⑫提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・高齢になった時に自宅に暮らし続けることについてを自らの身にひきつけて語ることができる。	(復習)教科書8-2と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書8-2を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	教科書8-3「特別な住居に暮らす」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題⑬(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題⑬提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・サービス付高齢者住宅の概念を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書8-3と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書8-3を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	教科書9-2「災害時への対応と住まい」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題⑭(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題⑭提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・災害時を想定して、それに必要な住居管理を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書9-2と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書9-2を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	教科書9-3「関連法に見るセーフティネットとしての住まい」	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 質疑応答 課題⑮(この回の内容の理解を確認する小テスト)	・課題⑮提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいセーフティネットの概念を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書9-3と受講ノートの確認。指定した資料の読み込み。 (予習)教科書9-3を読み、わからない用語や概念に下線を引いておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力